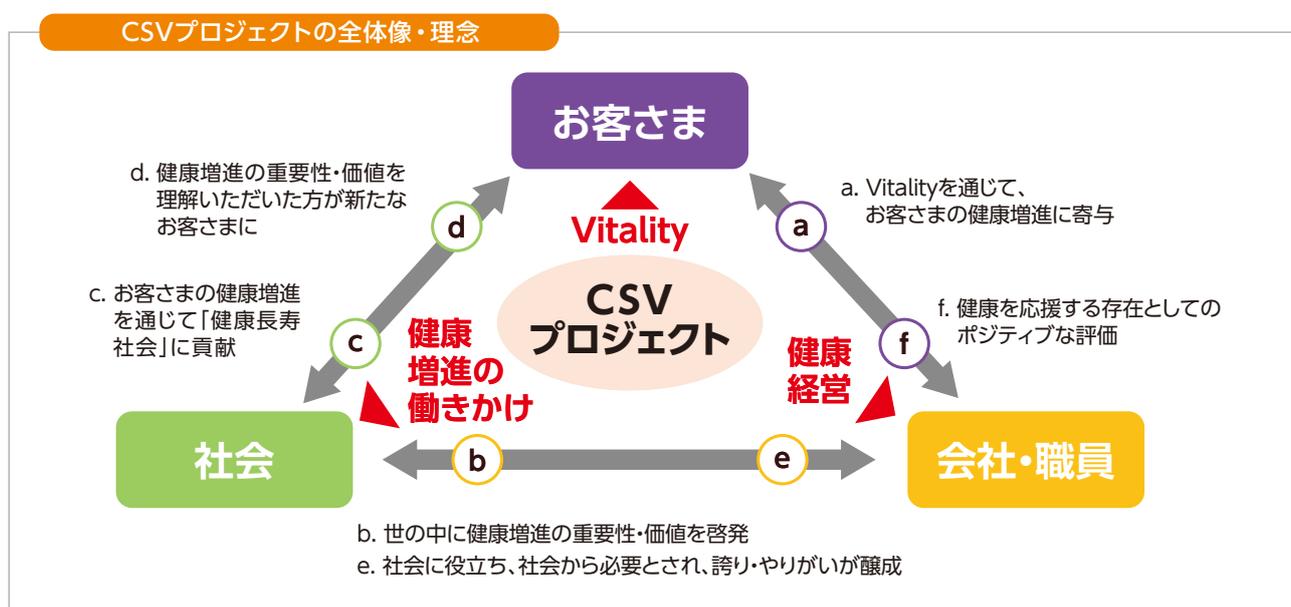


## 健康増進を軸とした CSVプロジェクトへの取組み

当社はこれまで、「本業である保険事業の健全な運営とその発展を通じて、豊かで明るい長寿社会の実現に貢献する」という方針の基で、企業の社会的責任を果たすCSRの取組みを推進してきました。

中期経営計画2019においては、こうしたCSR経営をベースとして、健康増進型保険“住友生命「Vitality」”を軸に、社会全体への健康増進の働きかけや、健康経営の推進を行うことで、「健康寿命の延伸」という社会的課題の解決に取り組んでいます。この取組みを「CSV※プロジェクト」と位置づけ、「お客さま」・「社会」・「会社・職員」とともに、健康増進という新しい共有価値を創造することで、「日本の健康寿命の延伸」を目指していきます。



### ①お客さまへの「Vitality」の提供

CSVプロジェクトの軸となる、健康増進型保険“住友生命「Vitality」”の提供を通じて、継続的な健康増進活動への取

組みを促すことによる健康状態の向上を実現し、日本の健康寿命の延伸に寄与することを目指していきます。

#### Vitalityの仕組み

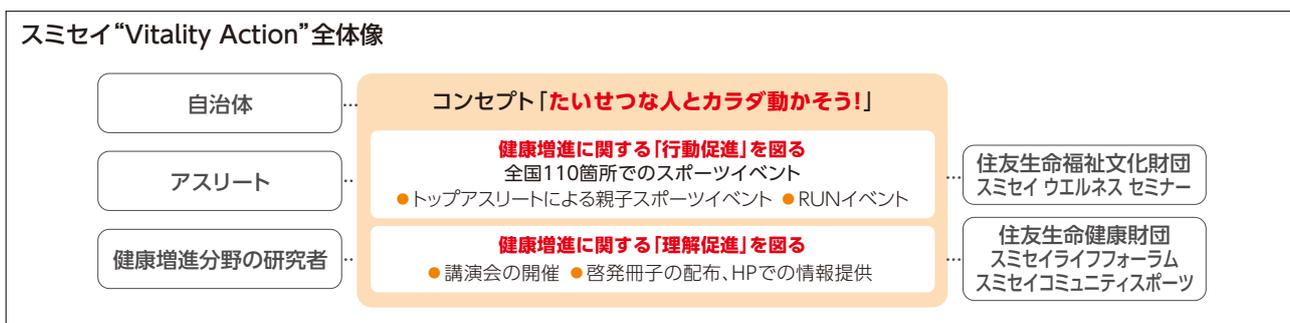
Vitalityは、健康を改善するツールや関連知識、それを促すインセンティブ等を提供することで、保険加入者がより健康になることをサポートするプログラムです。具体的には、加入者の年間を通じた健康増進活動への取組みをポイント化し、累計ポイントに

よって年間のステータスを判定します。そのステータスが高いほど、保険料割引やパートナー企業が提供する魅力的なサービスが得られることで、健康増進に取り組むモチベーションを高めていく仕組みとなっています。(P16参照)

## ②社会全体への健康増進の働きかけ

健康増進をテーマとした社会貢献事業である「スミセイ“Vitality Action”」では、社会課題に対して1つの組織だけでなく、様々な主体が、お互いの強みを活かして取り組む「コレクティブインパクト」というCSVの特徴的なアプローチ方法を用い、自治体や財団、研究者、アスリート等の皆さま

まからご協力を得ながら、健康増進という社会課題に取り組んでいます。具体的には、以下のとおり健康増進に関する「行動促進」と「理解促進」に取り組んでおり、これらの活動を通じて社会全体への健康増進の働きかけを行っています。(P80参照)



## ③職員とその家族が健康になる「健康経営」の推進

一人ひとりの職員が個々の能力をいきいきと最大限に発揮するためには、何より職員やそのご家族が心と体の健康を大切に、健康な生活を送ることが非常に重要であると考えています。当社では、日本の健康寿命の延伸を目指して健康増進への取組みを進めており、その出発点は、や

はり職員一人ひとりの健康に対する「意識」と「行動」です。このような認識のもと、「住友生命グループ健康経営宣言」を策定し、経営的視点から職員およびその家族の健康維持・増進活動に取り組むことを全力でサポートしています。(P78参照)

### 職員による座談会

健康増進への取組みを推進するため、CSVプロジェクトに関する理解を深めるべく、各業務の担当職員による座談会を実施しました。その中で共有された“CSVプロジェクトに取り組む想い”について、以下のとおりご紹介いたします。

#### ● お客さまへの「Vitality」の提供

お客さまの「健康増進への取組みをサポートする」というのがVitalityの一番の趣旨です。そのために、保険料変動や特典(リワード)といった仕組みがあるのですが、そこばかりにフォーカスしてしまうと、根本の理念が薄れ、健康増進を促すことが意識されないようになってし

まうかと思います。Vitalityは海外では、「shared value insurance (共有価値保険)」と言われており、まさにCSVを実現する保険です。Vitalityを通じて、健康増進という理念を伝えていくことでCSVの実現を目指していきます。

#### ● 社会全体への健康増進の働きかけ

Vitalityの普及はもちろんですが、「スミセイ“Vitality Action”」を通じて、社会全体へ働きかけを行っていくことも大切です。参加者からは、「体を動かす良いきっかけになった」という感想もいただいております、保険商品を通じ

た健康増進への取組みとともに、社会貢献活動に積極的に取り組むことで、健康増進の重要性をお伝えしていきたいと思っています。

#### ● 職員とその家族が健康になる「健康経営」の推進

健康増進の重要性を、お客さまや社会にお伝えしていくためには、私たちが自ら健康増進に取り組み、体験することが重要です。日々の生活の中で、健康を意識し、実際に行動していくことで、お客さまや社会ととも

に健康増進に取り組んでいきます。

